

工事施行状況報告書作成要領

(改定：令和4年8月1日)

和泉市都市デザイン部建築・開発指導室

この作成要領は、都市計画法第80条、宅地造成等規制法第19条の規定に基づく報告事項およびその作成方法を定めたものである。

許可を受けた者・宅地の所有者、管理者または占有者は、この作成要領に基づき施行状況報告書を作成し、報告書および写真等を適宜添えて和泉市長へ報告するものとする。

第1節 施行状況報告書

1. 1 作成要領

- (1) 様式は、様式1、様式2および様式3による。
- (2) 様式1の施行状況報告書の表紙の概要欄は、許可申請書の内容と一致させる。
- (3) 工事施工者に変更があれば法律等に基づく申請をこの報告以前に行なう。
- (4) 様式2の作成については、様式2の記載例を参考にし、詳しく正確に記載する。
- (5) 様式3の資料チェックリストは、JIS、JASS等に基づき、和泉市長が指示する報告資料についてまとめたものであり、許可を受けた者・宅地の所有者、管理者または占有者は工事着手前に報告資料を正確に把握し、工事完了後報告資料を確認の上、チェックリストに記載し、報告する。

記入例

月／日	天気 最低気温	報告事項	報告事項詳細	資料 No.	写真 No.
○.○	晴	図面の照合	許可申請書と現場図書の照合		
○.○	曇	杭地業	許可申請書の杭長より2m長い試験杭搬入		
○.○	晴	杭地業	試験打ちを行う。 戴荷試験の結果は申請書以上の支持力がえられた。 また支持層もボーリングデータどおりの深度であることを確認した。		
○.○	晴	杭地業	50セット打設完了。 杭頭ひびわれ無し。 杭芯ずれは許容範囲内である。		
○.○	晴	鉄筋工事	使用鉄筋材料をミルシートで確認		
○.○	晴	鉄筋工事	底版配筋の径・本数・位置・定着等を確認		
○.○	晴	コンクリート工事	コンクリート配合報告書の資料を確認		
○.○	曇	コンクリート工事	型枠の位置・寸法およびかぶり厚さを確認		
○.○	曇	コンクリート工事	設計基準強度21N/mm ² ・スランプ15cmの コンクリート○○m ³ 打設した。スランプ・空気量・塩化物量を 確認 テストピースは材令7日・28日の圧縮試験用に6本採取した。		
○.○	雨	鉄筋工事	使用鉄筋材料をミルシートで確認		
○.○	曇	鉄筋工事	縦壁配筋の径・本数・位置・定着等を確認		

月／日	天気 最低気温	報告事項	報告事項詳細	資料 No.	写真 No.
○. ○	晴	コンクリート工事	型枠の位置・寸法およびかぶり厚さを確認		
○. ○	晴	コンクリート工事	設計基準強度 21 N/mm ² ・スランブ 15 cm の コンクリート 〇〇 m ³ 打設した。スランブ・空 気量・塩化物量を確認 テストピースは材令 7 日・28 日の圧縮試験用 に 6 本採取した。		
○. ○	晴	コンクリート工事	止水コンクリートを打設		
○. ○	晴	土工事	転圧を行い、土の埋戻しを行なった。		

第2節 各種試験等報告書

2. 1 地盤調査報告書

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| (1) 土の粒度および物理試験ための資料調整方法 | (J I S A 1 2 0 1) |
| (2) 土の粒子の比重試験 | (J I S A 1 2 0 2) |
| (3) 土の含水量試験 | (J I S A 1 2 0 3) |
| (4) 土の粒度試験 | (J I S A 1 2 0 4) |
| (5) 土の液状限界試験 | (J I S A 1 2 0 5) |
| (6) 土の塑性限界試験 | (J I S A 1 2 0 6) |
| (7) 土の突固め試験 | (J I S A 1 2 1 0) |
| (8) 土の一軸圧縮試験 | (J I S A 1 2 1 6) |
| (9) 土の三軸圧縮試験 | (地盤工学会の方法) |
| (10) 土の直接剪断試験 | (地盤工学会の方法) |
| (11) 土の圧密試験 | (J I S A 1 2 1 7) |
| (12) 土の透水試験 | (J I S A 1 2 1 8) |
| (13) 現場における土の単位体積重量試験 | (J I S A 1 2 1 5) |
| (14) 土の標準貫入試験 | (J I S A 1 2 1 9) |
| (15) 平板載荷試験 | (地盤工学会の方法) |

2. 2 地盤改良施工報告書

建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針（日本建築センター）による。

施工報告書

- ・ 施工法（改良方法）
- ・ 施工内容（許容支持力、基準強度、合格判定値）
- ・ 施工記録（改良幅、深さ、固化剤等）
- ・ 施工写真

2. 3 杭耐力試験報告書および杭施工報告書

(1) 各種くい体試験報告書

○既成コンクリートぐいおよび鋼ぐい

J I S 表示許可書等品質を証明できる書類を添付すること。

○場所打ちぐい

コンクリート配合報告書、スランプ等試験報告書、塩化物量試験報告書、コンクリート圧縮強度試験報告書、鉄筋強度試験報告書

○くいの鉛直載荷試験

地盤工学会の「くいの鉛直載荷試験基準」による。

○くい施工報告書

施工記録

支持層の確認

くい芯ずれ図、補強計算書および補強図

2. 4 コンクリート配合報告書

2. 5 フレッシュコンクリートのスランプ・空気量・温度試験報告書

(1) コンクリートのスランプ試験方法 (J I S A 1101)

(2) まだ固まらないコンクリートの空気量の容積による試験方法 (J I S A 1118)

(3) まだ固まらないコンクリートの空気量の圧力による試験方法 (J I S A 1128)

(4) まだ固まらないコンクリートの資料採取方法 (J I S A 1115)

※ 試験回数

一日1回かつ打込み量150m³ごとに1回とする。

2. 6フレッシュコンクリート塩化物量試験報告書

J I S A 5 3 0 8 (付属書5：フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法)あるいは、J A S S 5 T - 5 0 2 (フレッシュコンクリート中の塩化物量の簡易試験方法)による。

※試験回数

一日1回かつ打込み量150m³ごとに1回とする。

2. 7コンクリート圧縮強度試験報告書

J I S A 1 1 0 8 (コンクリートの圧縮強度試験方法)による。供試体の材令は28日とし、養生方法は建設省告示1102号による。

※試験回数

一日1回かつ打込み量150m³ごとに1回とする。

※試験機関 (令和4年8月1日現在)

○一般財団法人 日本建築総合試験所 試験研究センター

(本 部) 06-6872-0391

(堺 試験室) 072-244-3912

○一般財団法人 日本品質保証機構

関西試験センター

072-966-7209

○株式会社サンゼン 技術センター

06-4868-8061

○関西コンクリート試験センター株式会社

072-920-3288

○株式会社松本商事

松本コンクリート技術事務所

06-6481-5299

○株式会社ピース 材料試験部(堺 試験室)

072-226-0505

○有限会社ヒカリ 材料試験部

072-240-5900

○株式会社オーテック試験センター

06-6475-3400

○インテックナレッジマネジメント株式会社

06-6382-0340

2. 8 鉄筋強度試験報告書

J I S Z 2 2 4 1 金属材料引張試験方法

J I S Z 2 2 4 8 金属材料曲げ試験方法

J I S Z 2 2 4 1 金属材料引張試験片

J I S Z 2 2 0 4 金属材料曲げ試験片

※試験回数

鉄筋の種類および径が異なるごとに1回（試験片3本）、かつ20tごとに1回（試験片3本）とする。

※ミルシートの提出があれば、これにかえることが出来る。

第3節 工事写真の撮り方

(1) 撮り方

- ①工事写真は全景および各タイプを撮影
- ②鉄筋径および間隔がわかるように箱尺等を配置し撮影する。
- ③黒板を当て工事名、施工者名、日付、撮影断面を記載する。

(2) 撮影箇所

①擁壁（見え隠れになる部分）

配筋状況（底版および縦壁）および出来形

練積の施工状況および裏込めコンクリートの幅の施工状況

栗石および止水コンクリートの施工状況

根入れ深さおよび全高さの写真

②排水関係

人孔および排水管等の敷設状況写真

様式2

月／日	天気 最低気温	報告事項	報告事項詳細	資料 No.	写真 No.

様式3

記号	項 目		有	無	備 考
ロ	地盤調査 報告書	裏込め土	粒度試験		
			三軸圧縮試験		
			一面せん断試験		
			その他		
		擁壁底版	粒度試験		
			三軸圧縮試験		
			一面せん断試験		
			その他		
	地耐力	平板載荷 試験	底版部分		
			地盤改良		
地盤改良報告書および結果報告書					
ハ	杭耐力試験報告書および杭施工報告書				
ニ	コンクリート配合報告書				
ホ	フレッシュコンクリートのスランプ・空気量・温度および塩化物量試験報告書				
ヘ	コンクリート圧縮強度試験報告書				
ト	鉄筋強度試験報告書				
チ	工事写真				
リ	練積み擁壁に用いるコンクリートブロック等の納品書				
ヌ	その他				